

専徳寺報

第411号

平成26年6月13日発行

浄土真宗本願寺派
専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

雨安居（仏婦法座）

御案内

新緑の季節、仏婦役員が主催する年に一度の法座が開かれます。たくさんのご参詣を心よりお待ちしております。

会長 河本多喜子

日時

6月25日（水）

昼 13時半～15時半

◆朝座なし◆

ご講師

本願寺派布教使

加藤 信行 師（鹿児島）

参拝セット

①お念珠、②聖典、③式章、④聴聞カードをお持ちください。

如来・人・言葉 98

その龍を水につけよ

勅字 梯 實圓

年を取ると、物忘れがひどくなってきました。仏法を聞いてもすぐに忘れてしまつて、聞いているときはなるほどと納得していたのに、後で思い出そうとしても思い出せないというようなわびしい状態に

専徳寺納骨堂受付中

なつてきます。

そんな悩みを蓮如上人に訴えた人がいました。「私の心は、まるで龍に水を入れるように、いくらおみのりを聞かせていただいても、すぐに忘れてしまつて法悦までも消えて、聞かぬ前の状態になつてしまふのが情けのうございます」と悲しむ門徒に、上人は「その龍を水につけよ、我が身をば法にひてておくべし」といわれたということです。

仏法についての知識を蓄えようとばかり努めるのは、学習ではあつても、まことの聞法ではありません。肝心のことを聞き落としているからです。私が老耄して、たとえ如来さまを忘れてしまうようなことがあつたとしても、私を決して忘れてくださらぬ阿弥陀如来さまのましますことを聞いていないからです。

如来の救いを記憶しようとすることは、如来を自分の心の中に取り込もうとしているのであつて、目の粗い龍に水をためようとしているようなものです。まことの聞法は、その龍を水につけておくように、自分が如来の大悲に包まれていることを聞いて喜び、如来の大悲にわが身を任せることなのです。忘れることを悲しむよりも、また聞くことを楽しむのです。今年も楽しく法縁に遇わせていただきましょう。

（『大乘』2002年 1月号より）

梯和上は先月の7日、89歳にて往生の素懷を遂げられました。

生前は宗学院等にて種々のご教導を賜りました。合掌（住職）



寺内だより

みほとけにいだかれて〔葬儀勤修〕

4月22日御往生

藤生 藤重 益夫様(90)

喪主 藤重ヤエ子様

4月27日御往生

尾津 村岡ユリコ様(91)

喪主 村岡 福夫様

5月1日御往生

南町 河田 政人様(92)

喪主 河田美代子様

5月2日御往生

黒磯 岸本キミ子様(89)

喪主 岸本 満宏様

5月4日御往生

中町 朝本チヨコ様(94)

喪主 朝本 利行様

5月24日御往生

保津 秋山 道子様(86)

喪主 秋山 文夫様

6月2日御往生

玖珂 藤田 健二様(86)

喪主 藤田 孝子様

●ご恩を偲びました〔法事勤修〕4/18〜6/8

【通津】岡林チエ子様100、岸村進様7、中本絹代様3、岩瀬寛治様1・17・25、木村康弘様13・50、館澤安衣様3、松川千代子様3、村本美代乃様7、田中稔様25、藤井貴美枝様13、【保津】伊藤暢様3、石原京子様3、【青木】尾上修様1、倉重孝子様1、【黒磯】尾下忠道様25、村岡幹郎様17、白木栄様1、【藤生】松重吉英様3・3、西里伸男様7、【海土路】古江益高様3、松宮栄昭様100、【南岩国】猪鹿月寿美江様7、楊井志津男様3、【由宇】浜崎真優美様7、【市内】留島まち子様3、森重梅乃様17、【県外】西岡佐富様3、佐々江須賀子様1

法統継承式

おめでと〜うございます〔入仏式〕

◆4月23日

青木 豊嶋 誠様

◆4月27日

通津 村重 洋子様

お給仕の慶び一入に存じます。

法要余香 (宗祖降誕会5月8・9日)

御講師・紫藤常昭師、参詣者・初日〓昼76人、夜23人。二日目〓昼87人。お鉢米〓廣田尚敏・中崎清人、森上芳江、棚田武人、お供物〓河村アサ子、藤井則枝。

法要総代様、仏婦理事様、有難うございました。

ご報告します

◆岩国組仏婦総会〔日時〕5月13日〔会所〕西福寺
【講師】外松太恵子【講題】今を生きるゝあなたがいて私がいる【参加者】河本多喜子、北本時枝、深井絹代、村岡房江、木村裕見子、前坊守

6月6日、本山の西本願寺にて法統継承式が行われ、大谷光真前門主(68)の長男光淳様(36)が第25代門主に就任されました。ご門主は宗祖親鸞聖人の血を引く大谷家が代々受け継がれ、ご門主の交代は昭和52年以来、37年ぶりでした。

今後、法灯が新しい門主へ伝えられたことを、仏祖の前に奉告する法要「伝灯奉告法要」が修行されます。その折には皆さんで参拝いたしたく存じます。

サマースクールのお知らせ

①夏の寺子屋 〓宿題をやりよう

期 間 7月28日(月)〜8月1日(金)

日 時 朝8時半〜11時

対 象 小学生

持ち物 夏休みの宿題、念珠、水筒、雑巾

場 所 専徳寺

※参加できる日だけで構いません。

②一泊合宿 〓お寺に泊まろう

日 時 8月6日(水)15時〜7日(木)10時

対 象 小学生(一人で泊まれる子)

参加費 千円

場 所 専徳寺

※参加ご希望の方は電話(38-11124)で申し込みください。その際、参加する子の①名前、②学年、③住所、④電話番号をお知らせください。後日持ち物など、詳細をお伝えします。

第二十五代 専如門主 大谷光淳様 略年譜

一九七七(昭和52)年 ご誕生

一九九二(平成4)年 お得度(新門となられる)

一九九三(平成5)年 大谷光淳新門様立嗣奉告法要

二〇〇三(平成15)年 浄土真宗本願寺派仏教青年連盟 総裁ご就任

二〇〇八(平成20)年 築地本願寺副住職ご就任

二〇一〇(平成22)年 首都圏をはじめ広く各地を訪ね、宗門の事情への理解を深められる

ボーイスカウト日本連盟特別顧問ご就任

法政大学法学部卒業、龍谷大学大学院修士課程修了、同博士課程単位取得。

中央仏教学院、東京仏教学院、龍谷大学大学院実践真宗学研究科やRECコミュニケーションカレッジで講師を歴任される。

ついたち礼拝(月のはじめは礼拝日)

7月1日(火)／8月1日(金) 午前9時より45分間